

平成29年度 草津市スポーツ推進計画の点検・評価

| | | | |
|--------------|---------------------------|-----------------|------------------|
| 基本方針1 | 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進 | | |
| 目標 | 新体カテストの成績 | 目標値(H32) | 全国平均点を上回る |

単位: 点

| 現状値(H26) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|----------|----------|----------|-------|-------|-------|
| 小学5年生 | 小学5年生 | 小学5年生 | 小学5年生 | 小学5年生 | 小学5年生 |
| 男子 53.06 | 男子 54.01 | 男子 53.96 | 男子 - | 男子 - | 男子 - |
| 全国 53.91 | 全国 53.92 | 全国 54.16 | 全国 - | 全国 - | 全国 - |
| 女子 53.59 | 女子 53.99 | 女子 54.7 | 女子 - | 女子 - | 女子 - |
| 全国 55.01 | 全国 55.54 | 全国 55.72 | 全国 - | 全国 - | 全国 - |

【成果・課題】

立命館大学スポーツ健康科学部と協働で取り組む「小・中学校体力向上プロジェクト」において、体育授業の数分間で取り組める「短時間運動プログラム」を新たに作成するとともに、体育指導者の指導力向上を目的とした研修会を開催した。
 今年度の小学5年生男子の成績は、昨年度よりわずかに下降したが、小学5年生女子は大きく上昇しており、全国との差は縮まってきた。
 ただし、依然として男女ともに運動が好きな児童と嫌いな児童の間に大きな体力差が生じており、運動好きの子どもを増やすことが課題である。

【今後の取組】

「小・中学校体力向上プロジェクト」において、楽しみながら、意欲的に取り組めるよう体育授業の改善を行うとともに、現在実施しているジュニアスポーツフェスティバルやダンス教室等の事業内容を充実させ、運動好きの子どもの育成を図る必要がある。
 また、既存の「短時間運動プログラム」について、各校の取組状況を把握するとともに、より効果の高い活用方法を検討していく必要がある。

| | | | |
|--------------|-----------------------------------|-----------------|--------------|
| 基本方針2 | 生涯スポーツ活動の推進 | | |
| 目標 | 成人(20歳以上)の週1回30分以上のスポーツ実施率 | 目標値(H32) | 65%以上 |

単位: %

| 現状値(H26) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|----------|------|------|-----|-----|-----|
| 54.8 | 50.8 | 49.6 | - | - | - |

【成果・課題】

「草津市民スポーツ・レクリエーション祭」の参加者や「くさつ健幸ウオーク2017」の申込者は、高齢者が多く、その結果に比例して高齢者のスポーツ実施率が高い傾向にある。
 また、今年度新規事業として、草津川跡地公園での健幸イベントの実施など、市民の方々にスポーツに親しむ契機となるような取組を進めた。
 しかしながら、市全体のスポーツ実施率の実績値としては、昨年度より1.2%減少しており、その要因の一つとしては、比較的若い世代のスポーツ実施率が低いことがあげられる。

【今後の取組】

スポーツ実施率の向上には幅広い世代が気軽にスポーツに親しむ機会の充実を図る必要があり、イベント開催時間の工夫など、若い世代も参加しやすいものとする必要がある。
 また、一過性のイベント参加で終わることなく、当該イベント参加者が新たにスポーツを始めるきっかけとなるような仕掛けづくりが必要である。

| | | | |
|-------|--------------------|----------|------|
| 基本方針3 | 地域コミュニティによるスポーツの推進 | | |
| 目標 | 地域スポーツクラブ設立数 | 目標値(H32) | 8クラブ |

単位:クラブ

| 現状値(H26) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 4 | 5 | - | - | - |

【成果・課題】

より身近に様々なスポーツができる機会や環境の充実に向けて、地域における各種スポーツやレクリエーションの普及等に取り組む草津市体育振興会連絡協議会にて、地域スポーツクラブの運営にかかる周知・啓発を行ってきた結果、今年度は新たに老上西小学校を拠点としたクラブが設立され、地域でのスポーツ推進の活動を開始された。
 なお、地域スポーツクラブの運営については、担い手の固定化・高齢化が大きな課題の一つとなっている。

【今後の取組】

今回、新設されたクラブも含め、市内にある5つの地域スポーツクラブが継続して活動していくための環境を整えることに協力するとともに、次年度以降の新しいクラブの設立に向けて、体育振興会連絡協議会を中心に市内の先進地域の事例研究等を行い、地域スポーツクラブの意義について改めて啓発を行うことで新しいクラブを設立する機運を高めていく必要がある。

| | | | |
|-------|----------------------|----------|--------|
| 基本方針4 | 競技スポーツの推進 | | |
| 目標 | 滋賀県民体育大会における草津市の総合得点 | 目標値(H32) | 95.00点 |

単位:点

| 現状値(H26) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|----------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 75.00 | 57.00 | 61.00 | - | - | - |

【成果・課題】

公益社団法人草津市体育協会の運営や活動を支援し、運営体制の強化に取り組んできた結果、市内の競技団体の総括組織として競技団体の事業や活動に連携・協力し、その活発な活動の促進につなげることができた。
 草津市の競技力の指標とした滋賀県民体育大会における草津市の総合得点は、平成28年度と比較して上昇したものの、平成26年度と比較すると依然として、低い状況となっている。その要因のひとつには、競技種目によっては選手の確保ができず、大会へ出場できないことがある。

【今後の取組】

市内の競技団体の活発な活動の促進に向けて、引き続き、公益社団法人草津市体育協会の運営や活動を支援し、さらなる運営体制の強化に努める必要がある。

また、競技力の向上に向けて、指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成を一層推し進めていくために草津市体育協会が市内の競技団体や滋賀県体育協会などの関係団体と一層の情報共有や連携に取り組む必要がある。

| | | | |
|-------|-----------------------|----------|-------------|
| 基本方針5 | スポーツ環境の充実 | | |
| 目標 | 社会体育施設 ホームページアクセス数 | 目標値(H32) | 100,000アクセス |

単位:アクセス

| 現状値(H26) | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|----------|---------|-------------------|-----|-----|-----|
| 36,406 | 150,293 | 169,888 ※12月現在 | - | - | - |

【成果・課題】

これまでから、社会体育施設の指定管理者である合同会社スポーツ振興事業体により、社会体育施設のウェブページ「草津市スポーツ情報ネット」の充実に取り組んでいただいているところであり、今年度はグーグルのストリートビュー（インドアビュー）のサービスを開始した。こうした取組を通じて、HPアクセスの増加を維持し、市民がスポーツ情報に触れる機会の充実を図った。

【今後の取組】

市内のスポーツ団体等と一層連携を密にした情報発信や様々な情報発信ツールの活用に取り組んでいくことでより効率的・効果的な情報発信を通じて、さらなる施設の利用促進や利用者の利便性向上等に取り組む必要がある。

また、本市のスポーツ環境の充実や市民のスポーツ健康づくりの実現に向けた効果的な社会体育施設の整備や改修に取り組む必要がある。

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | |
|------------------------------|------------------|---------------|-------|---|-------|---|---|--|--|--|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 実施計画 |
| ① 遊びを通じた運動・スポーツの充実 | 子どもの運動・遊び推進事業 | 幼児課・子ども子育て推進課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 認定こども園、幼稚園、保育所、子育て支援センター | 目標 | 様々な運動(遊び)を通じて、子どもの体力・運動能力の向上と、親同士や子ども同士の交流を深めるきっかけづくりにつなげる。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)の充実を図り、また子育て支援センターにおいて、遊び場の提供や親子で身体を動かすことができるイベントを開催する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 認定こども園・幼稚園・保育所において、各園所の特色を生かした運動(遊び)を毎日実施した結果、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の向上につながった。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 引き続き、各園所の特色を生かした運動(遊び)の実施を推進していくと共に、園庭の大きさ等、限られた環境の中での活動内容の工夫を行なっていくことが必要である。 | 計画 | ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 | ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 | ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 | ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 | ◆各園所 元気ひろば・マラソン大会、相撲遊び等の実施 ◆子育て支援センター 各種イベントの開催 |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | ◆各園所 ・元気ひろば 10園所 ・リズム運動 6園所 ・サッカー教室 6園所 ・マラソン大会 1園所 ・相撲遊び 1園所 ◆子育て支援センター ・ツインフレンズ「ミニ運動会」(10月) ・父親教室「防災運動会」(11月) | ◆各園所 ・元気ひろば 10園所 ・リズム運動 6園所 ・サッカー教室 6園所 ・マラソン大会 1園所 ・相撲遊び 1園所 ◆子育て支援センター ・ツインフレンズ「ミニ運動会」(10月) ・父親教室「手はり体験」(11月) | | | |
| ② 親子で楽しむ運動・スポーツ機会の充実 | 親子で参加できる各種スポーツ教室 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会 | 目標 | スポーツを通じて、親子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 児童期対象の教室について、児童のスポーツの楽しさや充実感の醸成が図れた。その結果、初回と最終回で実施した体力テストの結果が向上した。また、指導者を増員しきめ細やかな指導体制を整えた結果、参加者数が増加した。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 参加者にとって、参加しやすい曜日や時間帯に教室を開催していきたいが、他事業との調整から開催場所の確保が課題となる。 | 計画 | 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 | 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 | 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 | 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 | 乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室 |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・楽しいスポーツ教室 ・ジュニアスポーツ教室 | 乳幼児期対象 4教室 ・親子の体操教室(春・秋) ・親子の3B体操教室 ・幼児サッカー教室 児童期対象 2教室 ・小学生スポーツ教室 ・夏休みジュニアスポーツ教室 | | | |
| ③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実 | 地域協働分校 | 生涯学習課 | 実施主体 | 各推進組織 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 地域住民、市民サークル、老人会、企業・大学関係者 など | 目標 | 学校・家庭・地域の協働を通じて、生涯を通した学びや活動に関心を持つことができる機会の充実を図る。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 学校・家庭・地域が、それぞれの持つ教育機能を生かしながら、子どもと大人が地域文化や、現代的課題等について学び合い、かわり合い、よろこび合い、認め合いの協働を積み重ねる社会を目指した活動を推進する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 学校の学習において、専門性の高い学び(クラブ活動、部活動、着衣泳、江州音頭等)を地域の方の支援を得ながら行った。昨年度よりも、1回で支援して下さる方の数が増えたり、1つの内容の活動回数が増えたりしたことにより、目標値を超えることができた。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 今後も、学校の教員だけでは教えることができない専門性の高い学びは、地域の方の継続した支援が必要である。 | 計画 | 支援者数 200人 | 支援者数 205人 | 支援者数 210人 | 支援者数 215人 | 支援者数 220人 |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 支援者数 201人 ・スポーツ体験・交流活動 34回 141人 ・部活動 50回 60人 | 支援者数 213人 ・スポーツ体験・交流活動 53回 146人 ・部活動 34回 67人 | | | |

(1) 乳幼児・児童の運動(遊び)の推進

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|-------------|-----------------------------|------------------------|---------|-------|--|------|---|---|---|---|---|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | | |
| | ④ トップアスリートと連携したスポーツ機会の充実 | くさつMIO夢先生事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 目標 | 児童がスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげる。 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | MIOびわこ滋賀、小学校 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 事業内容 | 市内の小学校においてMIOびわこ滋賀と連携した体育の授業を行い、児童とMIOびわこ滋賀の選手等のトップアスリートが交流できる機会の充実を図る。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 成果 | トップアスリートとの交流を通じて、児童がスポーツに限らず自分の夢や希望に向かって努力する大切さを認識した。 | 計画 | 市内小学校 3校 | 市内小学校 5校 | 市内小学校 5校 | 市内小学校 5校 | 市内小学校 5校 |
| | | | | 課題 | 小学校カリキュラムの範囲内での事業実施になることから、希望する小学校のみでの開催となった。当該事業の目的や魅力を周知・啓発していくことで実施する小学校を拡大していく必要がある。 | 実績 | 市内小学校 5校 ・志津南小学校 6年 ・草津小学校 4年～6年 ・山田小学校 6年 ・玉川小学校 3年 ・常盤小学校 5年 | 市内小学校 4校／6回 ・渋川小学校 6年 ・老上小学校 4年 ・志津小学校 4年 ・玉川小学校 4年(3回) | | | |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | |
| (2) 学校体育の充実 | ① 授業内容の充実と体育指導の向上 | 小・中学校体力向上プロジェクト事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 目標 | 児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上につなげる。 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 小学校体育連盟、中学校体育連盟、立命館大学 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 事業内容 | 児童が楽しみながら、体力向上を図れるよう、ダンス教室を開催する。また、児童・生徒が意欲的に体育授業に取り組めるよう、立命館大学と協働して授業内容の研究と充実を図るとともに、指導者の資質向上に努める。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 成果 | ダンス教室では、指導内容等を工夫することで、昨年度より「ダンス教室がとても楽しかった」と回答する児童の割合が増加した。また、立命館大学の協力のもと新たな運動プログラムを作成するとともに、教員に対しても講習会・研修会を実施し、体育授業の充実および教員の資質向上に努めた。 | 計画 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 |
| | | | | 課題 | 児童・生徒の体力向上と体育指導者の資質向上に向けて、関係団体との連携を強化していく必要がある。 | 実績 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | ダンス教室14回(小) 体育実技講習会 1回 体育実技研修会 1回 | | | |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | |
| (2) 学校体育の充実 | ② 大学と連携した学校体育の充実 | ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 目標 | 児童が様々なスポーツの体験・出会いを通じて、運動をすることが好きになるきっかけづくりにつなげる。 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 小学校体育連盟、立命館大学 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 事業内容 | 市内の小学6年生が一堂に会するスポーツイベントを立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や大学の様々な運動部と交流できる機会をつくる。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 成果 | 雨天プログラムとして計画していた長縄8の字跳びの記録計測を各小学校で実施した。 | 計画 | 10月開催 | 10月開催 | 10月開催 | 10月開催 | 10月開催 |
| | | | | 課題 | 雨天時のプログラムについて、長縄跳びだけでなく、大学運動部との交流をすることができないか検討する必要がある。 | 実績 | 10月14日開催 市内小学6年生 1,300人参加 | 雨天のためクインスタジアムでの活動は中止 | | | |
| | | | | 評価 | 2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | |

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|-------------------|------------------|-------------------------------------|------------------------------------|----------|--|--|--|--|--|
| | | | | 実施計画 | | | | | |
| (3) 運動クラブ・部活動の充実 | ① 小・中学校体育連盟の連携強化 | 小・中学校体育連盟活動推進事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 小学校体育連盟、中学校体育連盟 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会の充実を図る。 | | | | |
| | | | | 成果 | 学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図るため、推進会議での意見交換を通じて、今年度立ち上げた「運動部活動支援員」の成果や課題について協議を重ねることができた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 部活動の活性化を図るため、「運動部活動支援員」制度以外の方策についても検討する必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| | 目標 | 小・中学校体育連盟の連携を強化し、運動クラブ・部活動の活性化を図る。 | | | | | | | |
| | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | |
| | 計画 | 推進会議 年3回 | 推進会議 年3回 | 推進会議 年3回 | 推進会議 年3回 | 推進会議 年3回 | | | |
| | 実績 | 推進会議 年3回 | 推進会議 年3回 | | | | | | |
| | (3) 運動クラブ・部活動の充実 | ② スポーツクラブ関係団体・部や活大等と連携した運動 | 運動クラブ・部活動支援事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | |
| 関係団体等 | | | | | 体育協会、立命館大学 | | | | |
| 事業内容 | | | | | 運動クラブ・部活動の充実した運営体制の構築を図るため、スポーツ関係団体や大学等と連携し、指導者や支援員の派遣等を行う。 | | | | |
| 成果 | | | | | 運動部活動の指導に不安を抱える部を対象に草津市体育協会の人材バンクを活用した「運動部活動支援員制度」を創設した。制度を活用した学校現場からは、大変助かるとの声をいただいている。 | | | | |
| 課題 | | | | | 新制度をより効果的に運用するため、各関係団体等とより綿密な連携が必要である。また、国の定める「運動部活動指導員」の制度についても検討を進めていく。 | | | | |
| 評価 | | | | | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | | 児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげる。 | | | | | | | |
| 年度 | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| 区分 | | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | 継続 | | | |
| 計画 | | 先進事例研究 | 新制度創設 支援件数 12件 | 支援件数 12件 | 支援件数 12件 | 支援件数 12件 | | | |
| 実績 | | ・大津市事例研究 ・事業実施要項(案)作成 | ・「運動部活動支援員制度」の創設 ・支援件数12件 | | | | | | |
| (4) スポーツ少年団活動の活性化 | | ① スポーツ少年団の支援 | スポーツ少年団事業補助金 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | |
| | 関係団体等 | | | | スポーツ少年団(体育協会) | | | | |
| | 事業内容 | | | | 子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。 | | | | |
| | 成果 | | | | 入団案内チラシを各小学校を通じて児童に配布した結果、新規入団者を確保することができ、団員数の増加につながった。また、ミニバスケットボールの新規団体登録があった。 | | | | |
| | 課題 | | | | スポーツ少年団独自の交流事業を開催し、子どもたちの交流推進を図る必要がある。 | | | | |
| | 評価 | | | | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| | 目標 | スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。 | | | | | | | |
| | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | |
| | 計画 | 団員数 800人 | 団員数 910人 | 団員数 940人 | 団員数 970人 | 団員数 1,000人 | | | |
| | 実績 | 団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回 | 団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回 | | | | | | |

基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----------------------|----------------------|-------------------|--|---------|---|--|----------------------------|--|----------------------------|-----|-----|-----|
| | | | | 実施計画 | | | | | | | | | | |
| (5) スポーツ障害の予防 | ① スポーツ障害に関する学習の推進 | スポーツドクター・スポーツトレーナー講習会 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 中学校体育連盟 | 目標 | 生徒のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、スポーツ活動中の事故等の予防に努める。 | | | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続的にスポーツできるよう、中学校におけるスポーツ障害に関する学習を推進する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| | | | | 成果 | 障害予防の座学だけでなく、一番怪我の多い足首の捻挫をした際のテーピングの巻き方について実習した。生徒の障害予防に対する意識を高めるとともに、運動中の怪我の減少につながった。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | |
| | | | | | | 計画 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | | | |
| | | | | 課題 | 日頃の体育の授業や部活動の時間において、障害予防につながるストレッチやトレーニングを自ら取り組めるような具体的な実践方法について学ぶ機会を持てるよう検討する。 | 実績 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | ドクター講習会 6回 トレーナー研修会 18回 | | | | | | |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | |
| | | | | ② スポーツ障害を防ぐ指導者の育成 | スポーツ指導者講習会 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | | | | | | |
| | | | | | | | 関係団体等 | 体育協会 | 目標 | 指導者のスポーツ障害に対する意識の醸成を図り、子どものスポーツ活動中の事故等の予防に努める。 | | | | |
| | | | | | | | 事業内容 | 子どもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ障害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| 成果 | 体育協会と連携して、競技団体やスポーツ少年団の指導者を対象とした講習会を開催することで、最新の指導ノウハウや考え方に触れ、個々の指導現場を見直す機会とできた。 | 区分 | 継続 | | | | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | |
| | | 計画 | 指導者講習会 1回 専門講座 3回 | | | | 指導者講習会 1回 専門講座 3回 | 指導者講習会 1回 専門講座 3回 | 指導者講習会 1回 専門講座 3回 | 指導者講習会 1回 専門講座 3回 | | | | |
| 課題 | 講習会への参加者が少なく、指導者のステップアップに必要な専門講座の開催が困難な状況にあることから、指導者に対して、講習会の必要性や重要性を周知・啓発し、意識の醸成を図る必要がある。 | 実績 | 指導者講習会 1回 | | | | 指導者講習会 2回 | | | | | | | |
| 評価 | 2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | | | | | |

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------|--------------------|---------|-------|---|---|---|--------------------------|--------------------------|-------------|--|
| | | | | 実施計画 | | | | | | | |
| (1) 身近なスポーツイベントの充実 | ① 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進 | 草津市民スポーツ・レクリエーション祭 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 体育振興会連絡協議会 | | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会 | | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 子どもから高齢者までみんなでスポーツを楽しむことができるニュースポーツ等を実施し、市内14学区の連携と親睦を図り、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康促進を図る。 | | | | | | |
| | | | | 成果 | 子どもを対象にした種目や学区対抗の種目、老若男女が楽しめる新たなフィナーレ種目などを実施した結果、想定を上回る多くの参加が見られた。 | | | | | | |
| | | | | 課題 | 高校生から20代までの参加が少ないことから、実施内容の工夫や広報媒体を検討する必要がある。 | | | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | |
| | | | | | 目標 | 身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、スポーツを通じた世代間の交流につなげる。 | | | | | |
| | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | | | | 区分 | 継続 | | | | | |
| | | | | | 計画 | 参加者数 920人 | 参加者数 940人 | 参加者数 970人 | 参加者数 1,000人 | 参加者数 1,050人 | |
| | | | | | 実績 | 参加者数 997人 | 参加者数 1,065人 | | | | |
| | | | | | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | | | 関係団体等 | 草津まちづくり会社 | | | | | |
| | | | | | 事業内容 | 草津川跡地公園で実施されるイベントと併せて健幸イベントを実施する。 | | | | | |
| | | | | | 成果 | 草津川跡地公園で実施される他のイベントと併せて健幸イベントを実施したことにより、多くの方が参加しやすいイベントとなった。幅広い世代を対象としたイベントを開催したことで、子どもや働く世代、アクティブシニアなどに対して、健康づくりのきっかけづくりを行うことができた。 | | | | | |
| | | | | | 課題 | イベント時だけでなく、継続して健康づくりに取り組んでもらえる仕組みをつくる必要がある。 | | | | | |
| | | | | | 評価 | 4 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| | | | | | 目標 | 働く世代や元気な高齢者、子どもたちなど幅広い世代に対して、健康づくりや運動のきっかけづくりを図る。 | | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | |
| | | | | 区分 | | 新規 | 継続または完了 | 継続または完了 | 継続または完了 | | |
| | | | | 計画 | | 参加者数 100人 | 前年度の実施状況を踏まえ、事業の継続を検討する。 | 前年度の実施状況を踏まえ、事業の継続を検討する。 | 前年度の実施状況を踏まえ、事業の継続を検討する。 | | |
| | | | | 実績 | | ①わくわくサマーランド 参加者 約2,700人 ②健幸フェア 参加者 約1,300人 ③くさつ健幸ウォーク2017 台風のため中止 | | | | | |
| | | | | 実施主体 | 草津市 | | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学 | | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る。 | | | | | | |
| | | | | 成果 | 今年度から、事務局を草津市体育協会へ移行し、協会のネットワークを活用した事務を行うことができた。また、立命館大学スポーツ健康科学部に参画いただくなど、多様な関係団体等との連携により事業を盛り上げることができた。 | | | | | | |
| | | | | 課題 | 参加者が年々減少傾向であることから、各実施団体が内容を見直すことで、より気軽に参加できる環境を整える必要がある。 | | | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | |
| | | | | 目標 | 様々なスポーツを体験できる機会を提供することで、市民のスポーツ活動機会の充実を図る。 | | | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | | | |
| | | | | 計画 | 参加者数 5,800人 | 参加者数 5,900人 | 参加者数 6,000人 | 参加者数 6,100人 | 参加者数 6,200人 | | |
| | | | | 実績 | 参加者数 5,006人 | 参加者数 4,604人 | | | | | |

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | |
|------------------------|-----------------|---------|--|--|--------------------------------|---|--|---|---|---|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | |
| ③ 障害者が参加できるスポーツイベントの支援 | 草津市いきいきふれあい大運動会 | 障害福祉課 | 実施主体 | 心身障害児者連絡協議会 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | | 目標 | 障害のある人の体力向上と社会参加を促進する。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 障害者団体と連携してスポーツイベントを開催し、障害者のスポーツ事業の充実を図るとともに、障害のある人とない人との交流につなげる。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 障害のある人もない人も、参加者が競技に参加し、交流することで、障害者(児)のスポーツ事業の充実と社会参加の促進が図れた。 | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | 課題 | 会場の暑さ対策や、参加者用駐車場の確保等、参加者から多く挙げられた要望について改善を検討し、さらに多くの人が参加しやすい事業とする必要がある。 | 計画 | 参加者数 570人 | 参加者数 570人 | 参加者数 570人 | 参加者数 570人 | 参加者数 570人 |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 参加者数 621人 | 参加者数 625人 | | | |
| ① ウォーキングの推進 | ウォーキング推進事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | | 目標 | 誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 年間を通じたウォーキング事業等を開催し、ウォーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウォーキングや、ウォーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 歩こう会の実施や地域等でのノルディックウォークの普及促進を通じて、ウォーキングを通じた健康づくりを推進することができた。 | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | 課題 | くさつ健幸ウォーク2017(台風接近に伴い中止)の申込者数が当初見込みを下回ったため、次回開催に向けて関係団体等と一層連携し、より魅力ある内容とする必要がある。 | 計画 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 ノルディック大会開催検討 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク2017開催 歩こう会記念事業検討 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク開催 |
| | | | 評価 | 2 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 歩こう会 12回 歩こう会記録展示 2回 歩こう会記念事業検討 ノルディックサークル 38回 健幸ウォーク開催検討 | 歩こう会 12回 ノルディックサークル 38回 くさつ健幸ウォーク2017(※台風のため中止)申込者数252人 歩こう会600回記念事業 下見・要綱策定 | | | |
| 草津版ヘルスツーリズム実証実験 | 企画調整課・商工観光労政課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | | |
| | | 関係団体等 | 観光物産協会、立命館大学 | 目標 | 交流人口の増加や「健幸」が享受できる都市としての定着を図る。 | | | | | |
| | | 事業内容 | 「健幸」を意識しながら、本市の多様な地域資源の掘り起こしやノルディックウォークなど多様なメニューを含むヘルスツーリズムを構築し、市民の健康増進等を図る。 将来的には、民間主体の運営を目指す。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | 成果 | ヘルスツーリズムの構築に向けて、関係者を交えたワークショップや、モニターツアーを複数回開催した結果、関係者との次年度以降の展開に向けた関係づくりを行うとともに、モニターツアーの課題の洗い出しを行った。 | 区分 | 検討 | | | | | |
| | | 課題 | モニターツアーの応募者数は定員に達したものの、情報発信の手法について課題が残ったことから、次年度はより魅力的なツアーとなるように磨き上げを行うとともに、効果的な情報発信の手法を検討する必要がある。 | 計画 | | ①地域資源の掘り起こし ②ワークショップ ③実証実験(モニターツアー) ④課題の洗い出し | 前年度の結果を踏まえた事業展開 | 前年度の結果を踏まえた事業展開 | 前年度の結果を踏まえた事業展開 | |
| | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | | ①地域資源リストの作成 ②5回 ③4回 ④課題の洗い出し | | | | |

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------|--|---|---|-----------------|-----------------|------------|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 目標 | 実施計画 | | |
| (2) スポーツを通じた健康づくりの推進 | ② ランニングの普及 | ランニングイベントの開催 | 都市再生課 | 実施主体 | 民間事業者(草津川跡地テナントミックス事業内テナント) | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 草津まちづくり株式会社 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 草津川跡地テナントミックス事業により誘致されるテナントとランニングステーションを活用したイベントを開催し、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運を高める。 | | | | |
| | | | | 成果 | 草津川跡地公園にて民間事業者による「健幸フェア」等のイベントを開催する中で、運動指導やヨガ、ノルディックウォークなど、健幸をテーマとしたスポーツの推進が図れた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 健幸に関するイベントを2回開催したが、いずれもランニングに特化したイベントではなかった。今後、ランニングを含めた健康づくり、スポーツ活動の推進を図る必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 2 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | |
| | | | | 事業内容検討 | イベント開催 年2回 | イベント開催 年2回 | イベント開催 年2回 | イベント開催 年2回 | イベント開催 年2回 |
| | | | | 事業内容検討 | イベント開催 年2回 ・わくわくサマーランド(7月) ・健幸フェア(9月) | | | | |
| ③ ライフステージに応じた事業の推進 | くさつ健幸ポイント制度 | 健康増進課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | | | | | | |
| | | | 事業内容 | 市民の積極的な健康づくりを促進するため、けん診の受診や、健康講座への参加等、健康づくりに関する取り組み状況に応じてポイントを付与し、ポイントと引き換えに特典を受けていただく。 | | | | | |
| | | | 成果 | 28年度の同時期(1/17時点で比較)と比べ20%増となり、徐々に制度が認知されつつある。 | | | | | |
| | | | 課題 | H30年1月から、健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の運用を開始し、若い世代の利用者が増加した。アプリ運用に伴い、健幸ポイント制度のポイント付与数やポイント対象メニュー(スタンプラリー、ヴァーチャルラリーコース)の変更等を周知していく必要がある。 | | | | | |
| | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| | | | | ポイント付与期間 6月～12月 | ポイント付与期間 1月～12月 | ポイント付与期間 1月～12月 | ポイント付与期間 1月～12月 | ポイント付与期間 1月～12月 | |
| | | | | ポイント付与期間 6月～12月 ポイント交換者 703人 | ポイント付与期間 1月～12月 ポイント交換期間 5月～2月 ポイント交換者 624人 (1/17現在) | | | | |
| ④ くさつ健康はつらつ体操等の普及・促進 | くさつ健康はつらつ体操 | 健康増進課 | 実施主体 | 健康推進員連絡協議会 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | | | | | | |
| | | | 事業内容 | 地域のまつりや運動会、ふれあいサロン等において「くさつ健康はつらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進を図る。 | | | | | |
| | | | 成果 | 地域のイベントやサロン等で「くさつ健康はつらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進に寄与することができた。 | | | | | |
| | | | 課題 | 「くさつ健康はつらつ体操」の取組効果について普及・啓発を図ることで、参加者の増加および市民の健康増進に繋げる必要がある。 | | | | | |
| | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| | | | | 地域での実施 | 地域での実施 | 地域での実施 | 地域での実施 | 地域での実施 | |
| | | | | 実施回数 19回 参加人数 5,508人 | 実施回数 16回 参加人数 3,849人 | | | | |

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|------------------|---------------------|-----------|---------|-------|---|------|---|---|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | | | | 実施計画 | | | | | | | |
| (3) 高齢者の健康づくりの推進 | ① 高齢者が気軽に参加できる事業の推進 | 老人クラブ活動支援 | 長寿いきがい課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 老人クラブ連合会 | 目標 | 社会福祉の増進を図り、明るく活力のある高齢社会の実現を目指す。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 老人クラブ連合会主催の「健康フェスティバル」等の高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 高齢者の健康づくりの機会の充実を図るため、老人クラブが主催するノルディックウォークによる「健康ウォーキング」等、高齢者が気軽に参加できる事業の支援を行った。その結果、明るく活力のある高齢社会を実現させようとする機運の高まりにつながった。 | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 課題 | 会員数が伸び悩んでいることから、引き続き、老人クラブのPRについて、老人クラブ連合会と連携して力を入れていく必要がある。 | 計画 | 健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催 | 健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催 | 健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催 | 健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催 | 健康フェスティバル、健康ウォーキング等の開催 |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | ・グラウンドゴルフ大会(7月) ・健康フェスティバル(10月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(5月、11月、12月、1月) | ・グラウンドゴルフ大会(7月) ・高齢者福祉大会(12月) ・健康ウォーキング(毎月) (健康フェスティバル 雨天中止) | | | |
| (3) 高齢者の健康づくりの推進 | ② いきいき百歳体操等の普及・促進 | いきいき百歳体操 | 長寿いきがい課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | 目標 | 身体を動かすことにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | いきいき百歳体操等の軽運動の普及・促進により、地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進するため、いきいき百歳体操に取り組み団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による介護予防の普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組みする団体が4団体増加し、介護予防への意識の高まりや、身近な地域で介護予防が実践できる通いの場の増加につながった。 | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 課題 | 町内会単位で実施している場合が多いが、実施団体が町内会数の半数を超え団体数の増加が鈍化しているため、介護予防の普及啓発の方法について検討する必要がある。 | 計画 | 地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。 | 地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。 | 地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。 | 地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。 | 地域においていきいき百歳体操や、転倒予防に関する取り組みを実施する。 |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 実施団体数 116団体 | 実施団体数 120団体 | | | |
| (4) 食育による | ① 子どもの食育の推進 | 離乳食レストラン | 健康増進課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 健康推進員連絡協議会 | 目標 | 子育てを行う保護者が、離乳食の進め方を習得するとともに、保護者同士の交流により、それぞれが持つ育児不安の解消につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 子育てを行う保護者が、離乳食のレシピや試食、栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や座談会を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 参加した保護者が、調理見学や試食により離乳食の具体的なイメージができ、栄養バランス等に関する食育を学ぶことができた。また保護者同士の座談会では、積極的な交流がみられ情報交換の場とすることができた。 | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 課題 | ほぼ定員に達する申込があるものの、開催場所によっては申込者が少ないこともあり、事業周知を行う必要がある。 | 計画 | 月2回程度 | 月2回程度 | 月2回程度 | 月2回程度 | 月2回程度 |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 年間20回開催 | 年間20回開催 | | | |

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|----------|---|--------------|---------|-------|---|-------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|-----|-----|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 目標 | 実施計画 | | | | |
| 健康づくりの推進 | ② 高齢者の食育の推進 | 草津歯口からこんには体操 | 長寿いきがい課 | 実施主体 | 草津市 | 目標 | 食べることで高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 草津歯口からこんには体操の普及・促進により、食べることを通じて、高齢者の健康な体づくりにつなげる。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | |
| | | | | 計画 | 地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。 | 地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。 | 地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。 | 地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。 | 地域において草津歯口からこんには体操の取り組みを実施する。 | | |
| | | | | 成果 | 食べることを通じて高齢者の健康づくりを推進するため、草津歯口からこんには体操に取り組む団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援、出前講座等による普及啓発を行った。その結果、新たに体操に取り組む団体が増加し、健康づくりへの意識の高まりや、身近な地域で健康づくりが実践できる通いの場の増加につながった。 | 実績 | 実施団体数 77団体 | 実施団体数 84団体 | | | |
| | | | | 課題 | 既にいきいき百歳体操に取り組んでいる団体が、草津歯口からこんには体操も併せて実施しているが、いきいき百歳体操の実施団体数の増加が緩やかになっていることから、草津歯口からこんには体操の団体数も増加が鈍化しているため、介護予防の普及啓発について検討する必要がある。 | 評価 | 3 | | | | |
| 評価 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | | |

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------|-----------------|---------|-------|---|--|----|----|----|------|---|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 実施計画 | | | | | |
| (1) スポーツ推進委員活動の活性化 | ① 地域のスポーツ活動の活性化 | スポーツ推進委員指導力向上事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | スポーツ推進委員協議会 | | | | | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | | | | | 目標 | スポーツ推進委員の指導力向上を図り、地域におけるスポーツのコーディネータとして各地域のスポーツ活動を推進する。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 滋賀県スポーツ推進委員協議会等が主催する各種研修会への参加や、スポーツ推進委員相互の連携・交流を図り、スポーツ推進委員活動を推進する。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 計画 | 自己研修会を4回実施し、より多くのスポーツ推進委員が研修会へ参加することができ、スポーツ推進委員としての資質向上につなげた。 | | | | | 計画 | 研修会参加回数 5回 自己研修会回数 2回 | | | | |
| | | | | 実績 | 自己研修会の内容を工夫し、多様な研修会の開催を検討していく必要がある。 | | | | | 実績 | 研修会参加回数 5回 ・県域3、近畿1、全国1 自己研修会回数 4回 ・スポレク実技研修 ・スーパーカラム研修 | | | | |
| 評価 | 4 | | | | | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | | | | | | |
| (1) スポーツ推進委員活動の推進 | ② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進 | スポーツ推進委員活動推進事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | スポーツ推進委員協議会 | | | | | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、各体育振興会、各地域スポーツクラブ | | | | | 目標 | スポーツ推進委員の積極的な協力により、地域等におけるスポーツ活動の活性化につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 計画 | 市民や各種団体の依頼により、ニュースポーツの出前講座を積極的に行った。また、約15年前に発行された「ニュースポーツのすすめ」の見直しを行い、ニュースポーツの推進を図った。 | | | | | 計画 | 協力事業数 4 出前講座回数 3回 | | | | |
| | | | | 実績 | 出前講座の内容が幅広いことから、それぞれのニーズに応じた指導ができるよう、研修会に積極的に参加するなど指導力向上に努める必要がある。 | | | | | 実績 | 協力事業数 4 ・健・交フェスタ ・スポーツクリエイション祭 ・駅伝競走大会 ・レイクサイドマラソン 出前講座回数 6回 ・児童育成クラブ ・育成会 他 | | | | |
| 評価 | 4 | | | | | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | | | | | | |
| (2) 体育振興会活動の活性化 | ① 学区単位のスポーツ活動の活性化 | 地域スポーツイベントの開催 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 各体育振興会 | | | | | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 各スポーツ推進委員 | | | | | 目標 | 地域のスポーツ活動の活性化により、地域内の交流や学区間の連携強化につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 学区運動会をはじめとした地域の各種スポーツイベントの活性化を図る。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 計画 | 各地域で、運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験をはじめとしたスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた地域内交流の機会とできた。 | | | | | 計画 | 各地域において、学区運動会やチャレンジスポーツデー等のスポーツイベントを開催する。 | | | | |
| | | | | 実績 | 地域によっては、若い世代の参加者が少ない状況等があるため、開催日やプログラム等を工夫し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。 | | | | | 実績 | 各地域において、学区や町内会単位の運動会やチャレンジスポーツデー、ニュースポーツ体験等のスポーツイベントを開催した。 | | | | |
| 評価 | 3 | | | | | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | | | | | | |

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------|-------------------|---------|---|--|--|--|--|------|--|---|--|--|--|-------------|
| | | | | 実施計画 | | | | | | | | | | | |
| (3) 総合型地域スポーツクラブ設立の支援 | ① 地域スポーツクラブ設立の支援 | 地域スポーツクラブ設立支援事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 各体育振興会、各スポーツ推進委員 | | | | | 目標 | 地域スポーツクラブの設立により、市民が身近にスポーツができる環境づくりにつなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、学区単位の地域スポーツクラブ設立の支援を行う。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 新たに老上西小学校を拠点としたクラブが設立され、地域でのスポーツ推進の活動を開始された。 | | | | | 区分 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 今回新設されたクラブが継続して活動していくための環境を整えることに協力するとともに、さらなるクラブの設立に向けた啓発を続ける必要がある。 | | | | | 計画 | 先進事例研究 | 支援制度創設 設立クラブ数 5クラブ | 設立クラブ数 6クラブ | 設立クラブ数 7クラブ | 設立クラブ数 8クラブ |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | 実績 | 市内先進地域の事例研究(志津スポーツクラブの取組について) | 補助金要綱の設置 設立クラブ数 5クラブ(うち新設1クラブ) | | | |
| | ② 総合型地域スポーツクラブの活性化 | 総合型地域スポーツクラブ事業補助金 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | くさつ健・交クラブ | | | | | 目標 | くさつ健・交クラブの活発な活動により、市民が多様なスポーツ活動を行える環境づくりにつなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | くさつ健・交クラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整える。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 新たに1名分の人件費補助を行い、クラブ運営体制を強化し、活動の促進につなげた。 | | | | | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 運営や事業の見直し等により持続可能なクラブとするための体制強化に努める必要がある。 | | | | | 計画 | クラブ会員数 600人 | クラブ会員数 630人 | クラブ会員数 660人 | クラブ会員数 690人 | クラブ会員数 720人 |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | 実績 | クラブ会員数 576人 | クラブ会員数 576人(H30. 2現在) | | | |
| (4) 各種関係団体との連携強化 | ① 各種関係団体との連携強化 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 各体育振興会 | | | | | 実施計画 | | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ | | | | | 目標 | 地域の各種スポーツイベント等の充実により、地域住民の主体的なイベント参画につなげる。 | | | | | |
| | | | 事業内容 | 地域の各種スポーツイベント等の充実を図るため、各種関係団体との連携を強化し、効率的・効果的なスポーツ活動を推進する。 | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | | 成果 | スポーツ推進委員の地域での活動の呼びかけや、体育振興会連絡協議会での情報交換を通じて、各学区における運動会や各種イベントの活性化を図った。 | | | | | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | |
| | | | 課題 | 継続的な活動のために各団体が一層、連携を強化し、日常的な情報交換等を行う必要がある。 | | | | | 計画 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、スポーツイベント等を開催する。 | |
| | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | 実績 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やチャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。 | 各学区において、スポーツ推進委員をはじめとした各関係団体と連携し、運動会やウォーキングイベント、チャレンジスポーツデー等の各種スポーツ大会を開催した。 | | | | |

基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | | | |
|------------------|---------------------|----------------|---------|-------|---|--|------|--|--|--|--|--|--|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 目標 | 年度 | 区分 | 計画 |
| (5) 大学や企業等との連携強化 | ① 大学等と連携したスポーツ活動の推進 | 大学等と連携したスポーツ活動 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 各体育振興会 | | 実施計画 | | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 立命館大学、市内高等学校 | | 目標 | 地域住民と学生・生徒の交流を通じて、地域のスポーツ活動の活性化につなげる。 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 地域のスポーツ活動において大学や高等学校等と連携し、大学等の専門性を生かした幅広いスポーツ活動を推進する。 | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | | | 成果 | 立命館大学の協力のもと、地域における健康バンドやウォーキング事業が展開された。その結果、より専門性の高い運動メニューが住民に提供され、自主的に運動に取り組む住民が増えた。 | | 区分 | 継続 | | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 他の地域へ取組を広げていくために、先進事例を広く情報提供していく必要がある。 | | 計画 | 立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。 | | 立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。 | 立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。 | 立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。 | 立命館大学や地域に所在する高等学校等と連携し、地域住民と学生・生徒が交流できるスポーツイベント等を開催する。 |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | 実績 | 立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。 | | 立命館大学の協力のもと、地域において健康バンドやウォーキング事業を実施した。 | | |
| | ② 企業等と連携したスポーツ活動の推進 | くさつMIO夢先生事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | 実施計画 | | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | MIOびわこ滋賀 | | 目標 | 地域住民がプロスポーツを身近に感じ、スポーツに対する関心の高まりや意識の醸成につなげる。 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 地域においてMIOびわこ滋賀の持つ専門性を生かしたスポーツメニューの提供や地域のスポーツイベント等への協力を行う。 | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | | | 成果 | 少年サッカー大会の開催に併せて、MIOびわこ滋賀の選手等によるサッカー体験を行った結果、地域住民と選手等の交流につながり、身近にプロスポーツを感じる機会を持てた。 | | 区分 | 継続 | | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 実施地域の拡大に向けて、早期より事業周知を行い、地域イベントに事業を組み入れてもらえるよう調整する必要がある。 | | 計画 | 市内2地域 | | 市内3地域 | 市内3地域 | 市内3地域 | 市内3地域 |
| | | | | 評価 | 2 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | 実績 | 市内1地域 | | 市内1地域 | | |

基本方針4 競技スポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|---------|-------|--|--|--|---|---|-------------------------------|-------------------------------|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 目標 | 年度 |
| (1) 体育協会活動の活性化 | ① 体育協会の支援 | 体育協会運営・事業補助金 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会 | 目標 | 競技団体の統括組織として、体育協会事務局の適正な運営体制を継続的に整えていく。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 競技団体の活発な活動を促進するため、競技団体を統括する体育協会の運営や活動の支援を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 新たに1名分の人件費補助を行うことで、体育協会の運営体制の強化を図り、その機能強化につなげた。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 国民体育大会等の大規模大会に向けて、一層、運営体制を強化する必要がある。 | 計画 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行う。 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整える。 |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | 実績 | 体育協会の適正な運営体制を整えるため、補助金を交付し、その運営や活動を支援した。 | 体育協会の運営や活動の支援を行い、適正な運営体制を整えた。事務局体制の強化を行うために新たに1名分の人件費補助を行った。 | | |
| | ② 国民体育大会に向けた競技力の向上 | 国民体育大会に向けた選手の発掘・育成 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 体育協会 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | 目標 | 若い世代の選手の発掘・育成を図ることで、各種競技スポーツの競技力向上につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 競技団体と連携し、国民体育大会に向けた選手の発掘・育成を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 競技団体と連携し、スポーツ教室や講習会を開催することで、ジュニア世代の競技力向上につなげた。 | 区分 | 検討 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 指導者の確保・育成ならびに選手の発掘・育成が一層推進できる仕組みを検討していく必要がある。 | 計画 | 競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 500人 | 競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 600人 | 競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 700人 | 競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 800人 | 競技力向上のためのスポーツ教室や講習会の参加者数 900人 |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | 実績 | ・サッカー教室 177人 ・グラウンドゴルフ教室 4人 ・テニス教室 132人 ・剣道教室 36人 | ・サッカー教室 854人 ・グラウンドゴルフ教室 6人 ・野球教室(小・中学生) 27人 ・テニス教室 3月開催 ・剣道教室 3月開催 ・少年少女スポーツ教室(共催事業) 270人 | | |
| (2) スポーツ少年団活動の活性化 | ① スポーツ少年団の支援 | スポーツ少年団事業補助金 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | スポーツ少年団(体育協会) | 目標 | スポーツ少年団活動を促進し、団員確保につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団活動の支援を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 入団案内チラシを各小学校を通じて児童に配布した結果、新規入団者を確保することができ、団員数の増加につながった。また、ミニバスケットボールの新規団体登録があった。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | スポーツ少年団独自の交流事業を開催し、子どもたちの交流推進を図る必要がある。 | 計画 | 団員数 880人 | 団員数 910人 | 団員数 940人 | 団員数 970人 | 団員数 1,000人 |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | 実績 | 団体数 37団体 団員数 906人 事業実施回数 10回 | 団体数 38団体 団員数 953人 事業実施回数 10回 | | |

基本方針4 競技スポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|---|--|--|--|--|
| | | | | 実施計画 | | | | | |
| (3) 各種大会出場者への支援 | ① 激励金の交付 | スポーツ選手各種大会出場激励金 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 競技に取り組む選手の側面的支援を行うため、各種大会出場者に激励金を交付する | | | | |
| | | | | 成果 | 激励金の交付を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとした。 | | | | |
| | | | | 課題 | 国体やオリンピックを控え、各種大会に参加される選手が多く、交付対象となる大会の拡大等を望む意見があることから、今後のスポーツ情勢の変化に的確に対応していく必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | 選手の大会参加や競技に取り組む意欲の向上につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | | | | | | | |
| 計画 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | | | | |
| 実績 | 交付件数 74件 | 交付件数 69件 | | | | | | | |
| | ② スポーツ顕彰の実施 | 草津市民スポーツ大賞 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | オリンピックや世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰し、スポーツ功労をたたえる。 | | | | |
| | | | | 成果 | スポーツ大賞の授与を通じて、競技に取り組む選手の励みの一つとした。 | | | | |
| | | | | 課題 | 必要に応じて、受賞基準の見直しなど、選手の競技に取り組む意欲向上につながる制度としていく必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | 選手の競技に取り組む意欲の向上と、選手の活躍が市民の勇気と感動につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | | | | | | | |
| 計画 | 世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。 | 世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。 | 世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。 | 世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。 | 世界選手権大会等において、極めて優秀な成績をおさめられた選手を「草津市民スポーツ大賞」で表彰する。 | | | | |
| 実績 | 受賞者数 0人 | 受賞者数 1人 | | | | | | | |
| (4) 障害者スポーツの推進 | ① 障害者アスリートへの支援 | 障害者アスリート各種大会出場激励金 | 障害福祉課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | パラリンピックや全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付する。 | | | | |
| | | | | 成果 | 全国障害者スポーツ大会の出場者に激励金を交付することで、選手の大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 障害者の競技スポーツを一層推進するために、練習や移動等に対する支援についても検討する必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | 障害のある人の各種大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | | | | | | | |
| 計画 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | 各種大会出場者に激励金を交付する。 | | | | |
| 実績 | 交付件数 3件 | 交付件数 6件 | | | | | | | |

基本方針4 競技スポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|-------------------|--|---------------------|---------|-------|--|------|---|---|------------------------|------------------------|------------------------|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 実施計画 | |
| | 福② 祉 草 津 市 立 障 害 と 者 福 の 連 携 セ ン タ ー による 障 ・ 害 者 立 障 害 者 | 滋賀県障害者スポーツ大会 | 障害福祉課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | 目標 | 障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図る。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 各種関係団体等と連携し、スポーツに取り組む選手の滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 各種関係団体と連携し、滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援した。また、障害者スポーツへの関心を高めるため、広報くさつにて、障害者スポーツについての特集を掲載した。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 毎年参加している者や、学校等から参加する者以外への、大会情報の周知について課題がある。 | 計画 | 参加者数 65人 | 参加者数 65人 | 参加者数 65人 | 参加者数 65人 | 参加者数 65人 |
| | | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 参加者数 62人 | 参加者数 67人 | | | |
| (5) 将来を担うアスリートの育成 | ① ジュニアアスリートの育成 | 各種ジュニアスポーツ教室 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会 | 目標 | スポーツ教室を通じて、ジュニア選手の発掘や継続的なスポーツ活動の支援につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | スポーツ関係団体等と連携して、専門的な技術を持つ指導者を招いたスポーツ教室を開催し、ジュニアアスリートの育成を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 滋賀レイクスターズや全国大会上位入賞経験を持つ講師を招聘したスポーツ教室を開催した。その結果、より高度な指導を行うことができ、ジュニア選手の競技力の向上につながった。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 中学生対象の教室について、部活動との兼ね合いがあり、参加者が少なかったことから、部活動の時間等に配慮した教室開催を検討する必要がある。 | 計画 | 小学生対象 6教室 中学生対象 1教室 | 小学生対象 6教室 中学生対象 1教室 | 小学生対象 6教室 中学生対象 1教室 | 小学生対象 6教室 中学生対象 1教室 | 小学生対象 6教室 中学生対象 1教室 |
| | | | | 評価 | 4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 小学生対象 6教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 ソフトテニス教室(春・秋) 少年少女スポーツ教室 小学生野球教室 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室 | 小学生対象 8教室 バレーボール教室 バスケットボール教室 小学生野球教室 ガールズサッカー教室 レスリング教室 他 中学生対象 1教室 中学生バレーボール教室 | | | |
| (5) 将来を担うアスリートの育成 | ② 専門性を生かしたアスリートの育成 | 大学・企業等と連携したアスリートの育成 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、立命館大学 | 目標 | 大学等の専門性を生かしたアスリートの育成や支援ができる機会を継続的に提供する。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 大学等と連携し、より専門性の高い指導を行うなど、それぞれの専門的観点からアスリートの育成や支援を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 成果 | 専門的知識を有するスポーツトレーナーと指導契約を行い、トレーニングルーム利用者等へ定期的かつ継続的な指導を行う体制を構築できた。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | | 課題 | 指導を受ける人は、リピーターが多いことから、新規利用者の拡大に向けて、広く事業の周知・啓発を行う必要がある。 | 計画 | スポーツ講座 3回 | スポーツ講座 3回 | スポーツ講座 3回 | スポーツ講座 3回 | スポーツ講座 3回 |
| | | | | 評価 | 4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | スポーツ講座 2回 | スポーツ指導 週1回 | | | |

基本方針4 競技スポーツの推進

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | |
|-------------|---------------|----------|---------|--|---|---|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------|
| | | | | 実施計画 | | | | | | |
| (6) 競技大会の推進 | ① 草津市民体育大会の開催 | 草津市民体育大会 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会 | | | | | |
| | | | | 事業内容 | 県民体育大会の選手選考会を兼ねた「草津市民体育大会」を種目別に開催し、選手の日ごろの練習の成果を発揮する場や選手間の交流する機会を提供する。 | | | | | |
| | | | | 成果 | 各競技に取り組む選手の日ごろの練習の成果を発揮する場とするとともに、選手間の交流を通じて選手の競技に取り組む意欲の向上につなげた。 | | | | | |
| | | | | 課題 | 種目によっては、参加者が減少してきていることから、開催プログラムの工夫など、参加しやすい環境づくりとともに、より効果的な大会周知を行う必要がある。 | | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| | | | | | 目標 | 大会の開催を通じて、選手個々の競技力の向上を図り、各競技全体の競技力向上につなげる。 | | | | |
| | | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | | 計画 | 参加者数 1,900人 | 参加者数 2,000人 | 参加者数 2,100人 | 参加者数 2,200人 | 参加者数 2,300人 |
| | | | | | 実績 | 参加者数 2,508人 | 参加者数 2,390人 | | | |
| | ② 各種競技大会の開催 | 各種競技大会 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| 関係団体等 | | | | 体育協会 | | | | | | |
| 事業内容 | | | | 「草津市武道祭」や「草津市駅伝競走大会」等、競技力の向上につながる各種競技大会を開催する。 | | | | | | |
| 成果 | | | | 「草津市駅伝競走大会」の事務局を体育協会へ移行し、協会のノウハウを活かした大会運営を行うことができた。 | | | | | | |
| 課題 | | | | 武道祭・駅伝大会ともに参加者が減少してきていることから、開催プログラムの工夫など、参加しやすい環境づくりに向けて各競技団体と連携していく必要がある。 | | | | | | |
| 評価 | | | | 2 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | |
| | | | | 目標 | 大会の開催を通じて、各競技の競技人口拡大につなげる。 | | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | | |
| | | | | 計画 | 武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム | 武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム | 武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム | 武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム | 武道祭参加者数 320人 駅伝参加チーム数 145チーム | |
| | | | | 実績 | 武道祭参加者数 250人 駅伝参加チーム数 125チーム | 武道祭参加者数 200人 駅伝参加チーム数 120チーム | | | | |

基本方針5 スポーツ環境の充実

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | | |
|------------------------|-----------------|---|---------|-------|---|---------------------------|---|-------------|-------------|-------------|-----|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 実施計画 | |
| (1) 指導者の育成・ボランティア機会の充実 | ① 指導者の育成 | スポーツ指導員等資格取得支援事業 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 体育協会 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | 目標 | 専門的な知識を有する指導者を育成することで、競技に取り組む選手の競技力向上や指導体制の充実につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 各種スポーツの指導者の資質と指導力の向上、新たな指導者の育成を図るため、スポーツ指導員等の資格取得に係る支援を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | | 検討 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | |
| | | | | 計画 | 県体育協会等と連携した資格取得支援のあり方を検討するとともに、各競技団体での資格取得奨励に努めた。 | 先進事例研究 | 先進事例研究 支援制度設計 | 支援制度創設 | 支援件数 2件 | 支援件数 2件 | |
| | | | | 実績 | 支援制度の検討を進めるとともに、個人の資格取得の機運を高める啓発を行う必要がある。 | 取組なし | 先進事例研究 | | | | |
| 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | |
| | ② 体育協会との連携 | 指導者人材バンク | スポーツ保健課 | 実施主体 | 体育協会 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | | 目標 | 新たな指導者の発掘・育成につなげ、競技スポーツの指導体制の充実につなげる。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 競技別指導者の情報を集約して指導者人材バンクを構築し、ニーズに応じて、指導者を派遣する。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | 継続 | |
| | | | | 計画 | 人材バンク制度の創設を行い、指導者の派遣を行うことで、中学校部活動の充実に向けた支援を行うことができた。 | 先進事例研究 | 人材バンク制度創設 指導者派遣件数 15件 | 指導者派遣件数 15件 | 指導者派遣件数 18件 | 指導者派遣件数 18件 | |
| | | | | 実績 | 地域活動など幅広い団体へ指導者を派遣するために事業の周知と指導者の拡充に取り組む必要がある。 | 県内他市等の事例研究 指導者の情報集約 | 人材バンク制度創設 指導者派遣件数 12件 | | | | |
| 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | |
| | ③ スポーツボランティアの育成 | スポーツボランティア登録制度 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | 実施計画 | | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ | 目標 | スポーツボランティアの協力体制を充実させ、ニーズに応じた協力が得られる環境を整える。 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 各種スポーツイベント等の円滑な運営を図るため、スポーツボランティア登録制度を設置し、スポーツボランティアの発掘・育成を図る。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | | 検討 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | |
| | | | | 計画 | スポーツボランティア登録制度について、計画を前倒して創設することができた。 | 先進事例研究 | 登録制度設計 | 登録制度創設 | 登録数 10人 | 登録数 20人 | |
| | | | | 実績 | スポーツボランティア登録制度の認知が低いことから、登録者確保に向けた周知に努めるとともに、積極的に活動機会の提供を図る必要がある。 | 県等の事例研究 制度設計に向けたアイデア抽出 | 登録制度創設 登録者数 27名 実施回数 4回 | | | | |
| 評価 | 4 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | | | | | | |

基本方針5 スポーツ環境の充実

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|------------------------|----------------------|------------------|---------|-------|--|--|----------------|----------------|-----------------|
| | | | | 実施計画 | | 実施計画 | | | |
| ④ スポーツボランティア機会の充実 | スポーツボランティアの積極的活用 | スポーツボランティアの積極的活用 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ | | | | |
| | | | | 事業内容 | 各種スポーツイベント等において、スポーツボランティアの積極的な受け入れを行い、スポーツボランティア機会の充実を図る。 | | | | |
| | | | | 成果 | ボランティアとして参加できる機会を広く提供することができた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 運営ボランティアの応募が少ない状況にあることから、草津市スポーツ振興事業体のスポーツボランティア登録制度との連携など、応募の機運を高める必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 2 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| | | | | 目標 | 新たなスポーツボランティアの発掘・育成を図り、スポーツを支える人材確保につなげる。 | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 計画 | ボランティア協力数 5人 | ボランティア協力数 7人 | ボランティア協力数 9人 | ボランティア協力数 15人 | ボランティア協力数 18人 |
| | | | | 実績 | ボランティア協力数 3人 | ボランティア協力数 1人 | | | |
| (2) 新たなスポーツ情報発信の充実 | ① ホームページを活用した情報発信の充実 | 草津市スポーツ情報ネットの充実 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 社会体育施設のHP「草津市スポーツ情報ネット」の充実を図るため、スポーツ関係団体の活動情報等の相互リンクや、予約情報システム導入の検討を行う。 | | | | |
| | | | | 成果 | 今年度からグーグルのストリートビュー（インドアビュー）のサービスを開始するなどウェブページの充実に取り組むことで、HPアクセスの増加を維持し、市民がスポーツ情報に触れる機会の充実を図った。 | | | | |
| | | | | 課題 | 市内のスポーツ団体等と連携した情報発信や様々な情報発信ツールの活用を通じて、より効率的・効果的な情報発信を行う必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 4 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| | | | | 目標 | 市民の多様なニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、市民のスポーツに対する関心の高まりにつなげる。 | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 継続 | | | | |
| | | | | 計画 | HPアクセス数 76,000 | HPアクセス数 82,000 | HPアクセス数 88,000 | HPアクセス数 94,000 | HPアクセス数 100,000 |
| | | | | 実績 | HPアクセス数 195,285 予約システムアクセス数 242,242 | HPアクセス数 194,469 (3.7現在) 予約システムアクセス数 283,260 | | | |
| ② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実 | 草津市スポーツ情報紙の発行 | 草津市スポーツ情報紙の発行 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市スポーツ振興事業体 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 市内のスポーツイベントや、各スポーツ関係団体の活動状況等の情報を集約したスポーツ情報紙を発行し、スポーツ情報のより効率的・効果的な発信を行う。 | | | | |
| | | | | 成果 | スポーツ情報紙について、計画を前倒して発行することができ、スポーツ情報ネットとともに新たな情報発信につなげた。 | | | | |
| | | | | 課題 | スポーツ情報紙を継続して発行していくために、関係団体との情報交換や編集等の体制を整える必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 4 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| | | | | 目標 | 市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整え、市民の積極的なスポーツ活動への参画につなげる。 | | | | |
| | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | | 区分 | 検討 | | 新規 | 継続 | 継続 |
| | | | | 計画 | 先進事例研究 | 市内スポーツ情報集約 | 情報紙発行 | 情報紙発行 | 情報紙発行 |
| | | | | 実績 | 県体協の事例研究 情報紙発行に向けたアイデア抽出 | スポーツ情報紙発行 | | | |

基本方針5 スポーツ環境の充実

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | | |
|-------------------------------------|--------------------|---------|-------|--|-------|---|---|------------------------|------------|------------|
| | | | | 実施主体 | 関係団体等 | 事業内容 | 成果 | 課題 | 評価 | 実施計画 |
| ① (仮称)野村スポーツゾーンの整備 | 野村公園整備事業 | 公園緑地課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 体育協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学 | 目標 | 既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園整備を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 計画通り、新体育館の建築工事に着手し、事業進捗に努めた。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 新体育館のコンセプトを実現し得る管理・運営手法の検討を行う必要がある。 | 計画 | ◆第1期事業 用地取得 | ◆第1期事業 建築工事 | ◆第1期事業(完了) 建築工事 | | |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | ◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約 締結 | ◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年) | | | |
| ② 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設の整備・充実 | 社会体育施設整備改修事業(国体整備) | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 体育協会 | 目標 | 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の競技種目の開催に必要な施設規模を確保する。 | | | | |
| | | | 事業内容 | 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、競技会場となる社会体育施設の必要な整備・改修を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 新たな競技種目の内定を得るとともに、(仮称)草津市立プールの整備に向けた基本計画の策定に着手した。 | 区分 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 国体等の開催に向けて、また市民が利用しやすい施設となる(仮称)草津市立プールの整備を進める必要がある。 | 計画 | 競技種目等の情報収集 | 競技会場の整備・改修 ・野村公園体育館 | 競技会場の整備・改修 ・野村公園体育館 | 競技会場の整備・改修 | 競技会場の整備・改修 |
| | | | 評価 | 4 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 競技種目の内定 ・バレーボール(成年男女) ・バスケットボール(少年女子) ・ソフトボール(少年男子) | 競技種目の内定 ・軟式野球(成年男子) 競技会場の整備 ・(仮称)草津市立プール 基本計画の策定に着手 | | | |
| (3) 社会体育施設等の整備・充実 | 社会体育施設整備改修事業(宮緒) | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | 実施計画 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 体育協会 | 目標 | 社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。 | | | | |
| | | | 事業内容 | スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能を維持していくために、施設に必要な改修等を行う。 | 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| | | | 成果 | 野村公園体育館整備に伴い廃止した野村運動公園テニスコートの代替施設を三ツ池運動公園に整備し、機能確保を図った。 | 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 課題 | 経年による老朽化が進む社会体育施設を利用者が快適に利用できるよう、施設の計画的な整備・改修により機能維持を図る必要がある。 | 計画 | 必要な整備・改修 ・常盤東健康広場 ・武道館武道場床 ・ふれあい体育館外壁 | 必要な整備・改修 ・三ツ池テニスコート整備 | 必要な整備・改修 | 必要な整備・改修 | 必要な整備・改修 |
| | | | 評価 | 3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | 実績 | 常盤東健康広場 グラウンド舗装改修 武道館武道場床 床塗装補修 ふれあい体育館外壁 外壁補修 | 三ツ池テニスコート整備 クレイ4面 総合体育館屋外排水設備 | | | |

基本方針5 スポーツ環境の充実

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|--------------------|--|---|--|--|---|--|--|--|--|
| | | | | 実施計画 | | | | | |
| ④ 地域まちなづくりセンター等の活用 | 地域まちなづくりセンター貸館事業 | まちづくり協働課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | | | | | | |
| | | | 事業内容 | 地域まちなづくりセンターにおいて各諸室の貸館を行い、健康体操やダンス等の運動・スポーツができる場所を提供する。 | | | | | |
| | | | 成果 | 健康体操やダンス等、スポーツができる場所の提供のため、市内14の地域まちなづくりセンターで諸室の貸館を行った結果、身近にスポーツが出来るできる場所として多くの市民に活用いただけた。 | | | | | |
| | | | 課題 | 様々な世代に施設を活用いただけるよう、施設について、積極的な広報活動を行う必要がある。 | | | | | |
| | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| 目標 | 地域まちなづくりセンターの貸館を通じて、市民が身近に運動・スポーツができる場所や機会の充実につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | 継続 | | 継続 | | | | |
| 計画 | 貸館施設 14館 | 貸館施設 14館 | 貸館施設 14館 | 貸館施設 14館 | 貸館施設 14館 | | | | |
| 実績 | 貸館施設 14館 | 貸館施設 14館 | | | | | | | |
| ⑤ 公園の整備・充実 | 児童公園等再整備事業 | 公園緑地課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | 各町内会 | | | | | |
| | | | 事業内容 | 児童公園・児童遊園の老朽化対策として、地元町内会の意見等を聴くことで、利用者ニーズの把握に努めながら、再整備(リニューアル)、改修を行う。 | | | | | |
| | | | 成果 | 地元町内会の意見等を踏まえながら市内3箇所の公園再整備を行うことで、身近にスポーツができる環境の整備につなげた。 | | | | | |
| | | | 課題 | 市内約300箇所の公園で老朽化が進んでおり、長寿命化対策が必要となっているが、財源確保等の課題により、抜本的な対策が進んでいない。 | | | | | |
| | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| 目標 | 利用者ニーズに合った公園の再整備を行うことで、子どもの外遊びの機会を増やし、基礎体力の増進につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | 継続 | | 継続 | | | | |
| 計画 | 公園再整備 3箇所 | 公園再整備 3箇所 | 公園再整備 3箇所 | 公園再整備 3箇所 | 公園再整備 3箇所 | | | | |
| 実績 | 公園再整備 3箇所 ・野村下伊屋田児童遊園 ・田白児童公園 ・木川四石舞児童公園 | 公園再整備 4箇所 ・野村東公園 ・追分丸尾北公園 ・野路下北池南児童遊園 ・野村南浦児童公園 | | | | | | | |
| (4) 学校体育施設開放の充実 | ① 学校体育施設開放の充実 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | | |
| | | | 関係団体等 | くさつ健・交クラブ、各地域スポーツクラブ | | | | | |
| | | | 事業内容 | 市内小・中学校の学校体育施設を広く開放し、市民が身近にスポーツができる場所の充実を図るとともに、地域スポーツクラブ等による学校開放運営を推進する。 | | | | | |
| | | | 成果 | 学校体育施設の開放を通じて、市民が気軽にスポーツができる場所の充実につなげた。 | | | | | |
| | | | 課題 | 利用希望が輻輳している学校もある現状を踏まえて、よりよい学校開放のルールを検討していく必要がある。 | | | | | |
| | | | 評価 | 3 | 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった | | | | |
| 目標 | 身近な場所でスポーツができる環境を整えることにより、市民の活発なスポーツ活動につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | | 継続 | | 継続 | | | | |
| 計画 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 6校 中学校 1校 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 8校 中学校 1校 | | | | |
| 実績 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校 | 開放校 小学校 14校 中学校 5校 クラブ運営校 小学校 4校 中学校 1校 | | | | | | | |

基本方針5 スポーツ環境の充実

| 施策 | 具体的な取組 | 事業名 | 担当課 | 点検・評価 | | | | | |
|------------------|--|--|--------------------------------|--------------------------------|--|--|--|--|--|
| | | | | 実施計画 | | | | | |
| (5) 企業等管理施設の有効活用 | ① 企業等管理施設の有効活用 | 企業等管理施設の一般開放の検討 | スポーツ保健課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 企業等 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 市内のスポーツができる場所を充実させるため、企業等と連携・協力し、企業等が保有する体育施設の市民への一般開放を検討する。 | | | | |
| | | | | 成果 | 立命館大学の協力のもと、大学施設を利用したスポーツ大会等を開催することができた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 企業の施設を利用することは不特定多数の入退場を許可しなければならぬというセキュリティ上の大きな課題がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | 体育施設を保有する企業の協力を得て、より市民が身近にスポーツができる場所の充実につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 検討 | 検討 | 新規 | 継続 | 継続 | | | | |
| 計画 | 先進事例研究 | 一般開放制度設計 | 一般開放制度創設 | 協力企業数 2企業 | 協力企業数 3企業 | | | | |
| 実績 | 企業保有施設情報収集 | 事例研究・課題整理 | | | | | | | |
| (6) スポーツ観戦機会の充実 | ① (仮称)「野村スポーツゾーン」等を生かしたスポーツイベントの推進 | 野村公園整備事業 | 公園緑地課 | 実施主体 | 草津市 | | | | |
| | | | | 関係団体等 | 体育協会、観光物産協会、中心市街地活性化協議会、立命館大学 | | | | |
| | | | | 事業内容 | 中心市街地活性化に貢献する集客拠点、かつ緑地やオープンスペースが不足する中心市街地のみどりの拠点となるよう、既存スポーツ施設の規模や強化等を核とした公園整備を行う。 | | | | |
| | | | | 成果 | 計画通り、新体育館の建築工事に着手し、事業進捗に努めた。 | | | | |
| | | | | 課題 | 新体育館のコンセプトを実現し得る管理・運営手法の検討を行う必要がある。 | | | | |
| | | | | 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | |
| 目標 | 既存スポーツ施設の規模や機能強化により、様々な競技や大規模なスポーツイベント等の受け入れにつなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | |
| 計画 | ◆第1期事業 用地取得 | ◆第1期事業 建築工事 | ◆第1期事業(完了) 建築工事 | | | | | | |
| 実績 | ◆第1期事業 用地取得(約14,000㎡) ※H29.3.27土地売買契約 締結 | ◆第1期事業 建築工事着手(2ヶ年) | | | | | | | |
| 実施主体 | 草津市 | | | | | | | | |
| 関係団体等 | 京都府自転車競技連盟、滋賀県自転車競技連盟 | | | | | | | | |
| 事業内容 | 烏丸半島で開催される「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の自転車競技大会の開催協力を行う。 | | | | | | | | |
| 成果 | 「草津ナイトレース」および「関西シクロクロス」の烏丸半島での開催協力を行い、本市の観光PRを図った結果、参加者や観戦者に烏丸半島を含めた本市の魅力を発信できた。 | | | | | | | | |
| 課題 | 市内外への草津市の魅力等の発信につながる機会であるため、烏丸半島以外の観光施設についてもより効果的な魅力等の発信を行う必要がある。 | | | | | | | | |
| 評価 | 3 | 5: 計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4: 計画以上にできた 3: 計画どおりできた 2: 計画どおりできなかった 1: 取り組まなかった | | | | | | | |
| 目標 | 自転車競技大会の開催を通じて、市内外への草津市の魅力等の発信につなげる。 | | | | | | | | |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | | |
| 区分 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | 継続 | | | | |
| 計画 | 「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。 | 「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。 | 「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。 | 「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。 | 「草津ナイトレース」、「関西シクロクロス」の開催協力を行う。 | | | | |
| 実績 | ・草津ナイトレース 7月30日、8月6日 ・関西シクロクロス 12月25日 | ・草津ナイトレース 7月29日、8月5日 ・関西シクロクロス 12月24日 | | | | | | | |